

北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所

記者発表資料

発 表 日 時

令和7年 6月18日

村上・岩船地域「命のみなとネットワーク」推進協議会による 岩船港防災訓練を開催します

近年、これまでに経験したことの無い豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生している状況や能登半島地震を踏まえ、孤立化した被災地に対して緊急物資等の海上輸送を実施する場合に備え、国土交通省港湾局では、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応を行うため「命のみなとネットワーク」の形成に取り組んでいます。

新潟県内では村上市、粟島浦村、新潟県及び民間事業者等が参集し、令和7年5月15日に村上・岩船地域「命のみなとネットワーク」推進協議会を立ち上げたところです。

このたび、北陸地方整備局が所有する大型浚渫兼油回収船「白山」^{しゅんせつ}による緊急支援物資輸送^{はくさん}を行う防災訓練を村上市、粟島浦村と連携して行いますので、以下のとおりお知らせします。

今回の訓練想定は、新潟港から白山に積載した支援物資を岩船港で積み替え、背後地区の避難所への輸送、及び小型船舶で孤立集落となった粟島の避難所への輸送を行います。

（当日、粟島への支援物資輸送は前撮りの映像を放映します）

- | | |
|----------|---|
| 1. 日 時 | 令和7年 6月25日（水）10：15～12：00 |
| 2. 訓練会場 | 岩船港（岩船地区）4号岸壁（耐震岸壁）付近
新潟県村上市岩船（岩船港地内）（別紙1のとおり） |
| 3. 主 催 者 | 村上・岩船地域「命のみなとネットワーク」推進協議会 |
| 4. 訓練内容 | 別紙1のとおり |
| 5. 参 加 者 | 別紙1のとおり |
| 6. 取材申込 | 取材を希望される方は別紙4により申し込み願います。 |

※当日の天候や海象により中止する場合があります。

中止の場合には連絡しますので、事前の申し込みをお願い致します。

※訓練終了後の取材時間を12：15までとしますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
専門紙

（問い合わせ先）
北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所
副所長 山川、沿岸防災対策官 玉木
TEL：025-222-6111（直通）

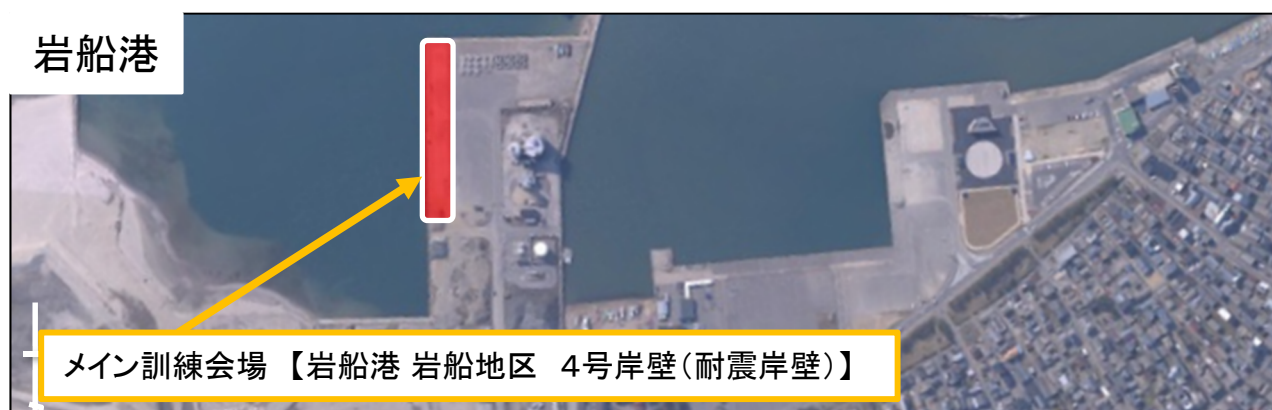
○訓練内容

- (1) 開会 (10:15~)
- ・村上市 市長 挨拶
 - ・北陸地方整備局 副局長 挨拶
- (2) 緊急支援物資輸送訓練 (10:25~)
- ・情報伝達訓練
 - ・支援物資輸送実動訓練
- (3) 閉会〔講評〕 (11:50~)

○参加者

村上・岩船地域「命のみなとネットワーク」推進協議会
 (【参考資料】＜参考3＞を参照)

○訓練会場 岩船港岩船地区4号岸壁(耐震岸壁)付近

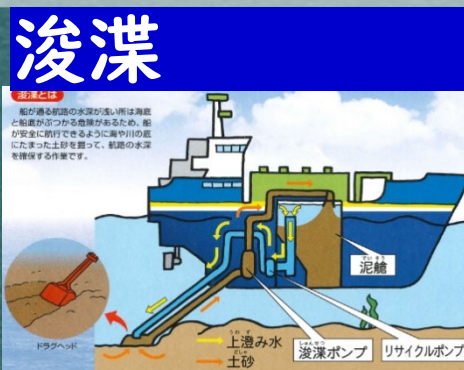


(粟島漁港および粟島浦小中学校体育館での支援物資輸送訓練は6月6日に実施した映像を放送)

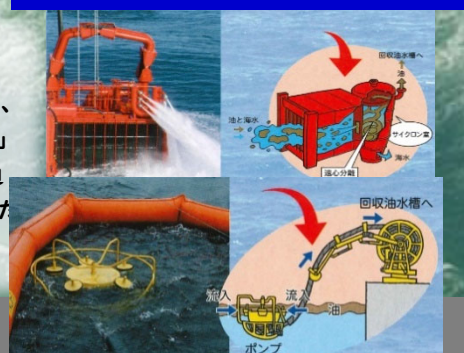
【参考資料】

別紙 2

＜参考 1＞大型浚渫兼油回収船「白山」について



油回収装置



「白山」は航行しながら浚渫または油回収を行う大型浚渫兼油回収船です。

平成9年1月に発生したロシアタンカー（ナホトカ号）の重油流出事故をきっかけに、流出事故の防除体制の強化が求められ、新潟西港にて稼働していた浚渫船「白山丸」の代替船として、「白山」が建造され、平成14年8月に新潟西港に配備されました。通常は、新潟港(西港区)において、浚渫作業を行っていますが、大量流出事故が発生した場合は、直ちに現場へ急行して油回収を行います。

【白山の諸元】 航行区域/沿海区域

- 全長/93.9m、幅17m、深さ/7.5m、満載喫水5.4m、総トン数/4,184t、航行速力/13.1kt
- 浚渫部：サトドラグ式、浚渫ポンプ3,300m³/h×2台、泥倉容量1,380m³、浚渫深度/-7.5～-18m
- 油回収装置：舷側設置式（渦流式及び堰式各1台）500m³/h×2基、

投げ込み式（堰式油分濃縮型）/30m³/h×1基、回収油水槽容量1,530m³

物資輸送用設備

物資搭載用クレーン設置



多関節型
吊上重量980kg、回転半径12m

保管容器



使用時は船の甲板に設置
16個のBOX2段積み、総容量約40m³

燃料・清水の供給



（供給想定量：岩船港の場合）
A重油：50,000 リットル
清水：145,000 リットル



東日本大震災時：人力による物資積み降ろし



迅速・大量輸送が可能

＜参考 2＞「命のみなとネットワーク」について

「命のみなとネットワーク」について 別紙1 国土交通省

○近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
 ○陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
 ○こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】

 8月27日、新潟県佐和田港で支援物資の輸送（佐和田市田中港）

【被災者の救援輸送拠点】

 新潟県佐和田港で被災者の救援輸送（佐和田市田中港）

【生活支援拠点】

 新潟県佐和田港で被災者の生活支援（佐和田市田中港）

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】
 “みなと”を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的に実施。

 R3年10月に佐和田港で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練

【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて～“みなと”を活用した災害支援事例集ver1～の作成】
 “みなと”を活用した災害対応支援を行った過去事例集などの作成。


国土交通省HP

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr7_000103.html

＜参考 3＞村上・岩船地域「命のみなとネットワーク」推進協議会について

村上・岩船地域における「港湾・漁港」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを形成することを目的に令和7年5月15日に立ち上げ。

会 長：村上市長

副会長：粟島浦村村長

構成機関・団体

村上市、粟島浦村、NPO法人コメリ災害対策センター、岩船港利用促進協議会、新潟県漁業協同組合 岩船港支所、粟島汽船(株)、粟島浦漁業協同組合、

（一財）危機管理教育&演習センター、新潟県港湾空港建設協会、海上保安庁 第九管区海上保安本部、海上保安庁 新潟海上保安部

新潟県 防災局、新潟県 村上地域振興局、

国土交通省 北陸地方整備局、国土交通省北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所

取 材 申 込 書

取材を希望する場合は、E-mail又はFAXでお申し込み下さい。

E-mail : pa.hrr-niigata@mlit.go.jp

FAX : 025-227-3170

申込み締切は6月23日（月）17時00分までです。

※申込期日に間に合わない場合は、取材が出来ない場合があります。

所属クラブ（所属するクラブに○を付けてください）
・新潟県政記者クラブ ・新県政記者クラブ ・専門紙
会社名及び部署名
取材者 役職・氏名（全員の役職氏名を記載願います）
① <u>（代表者）</u>
② <u></u>
③ <u></u>
連絡先（代表者の連絡先）
注意事項
受付場所：新潟港湾・空港整備事務所 受付時間：8：30～17：00 （6月25日（水）は訓練会場にお越し願います。） ※取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用し、担当者の指示に従って下さい。

上記のとおり、取材を申し込みます。

北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
沿岸防災対策官 玉木 あて